

社会资本総合整備計画

さ ば が わしんば しち く と し さいせいせいびけいかく
佐波川新橋地区都市再生整備計画

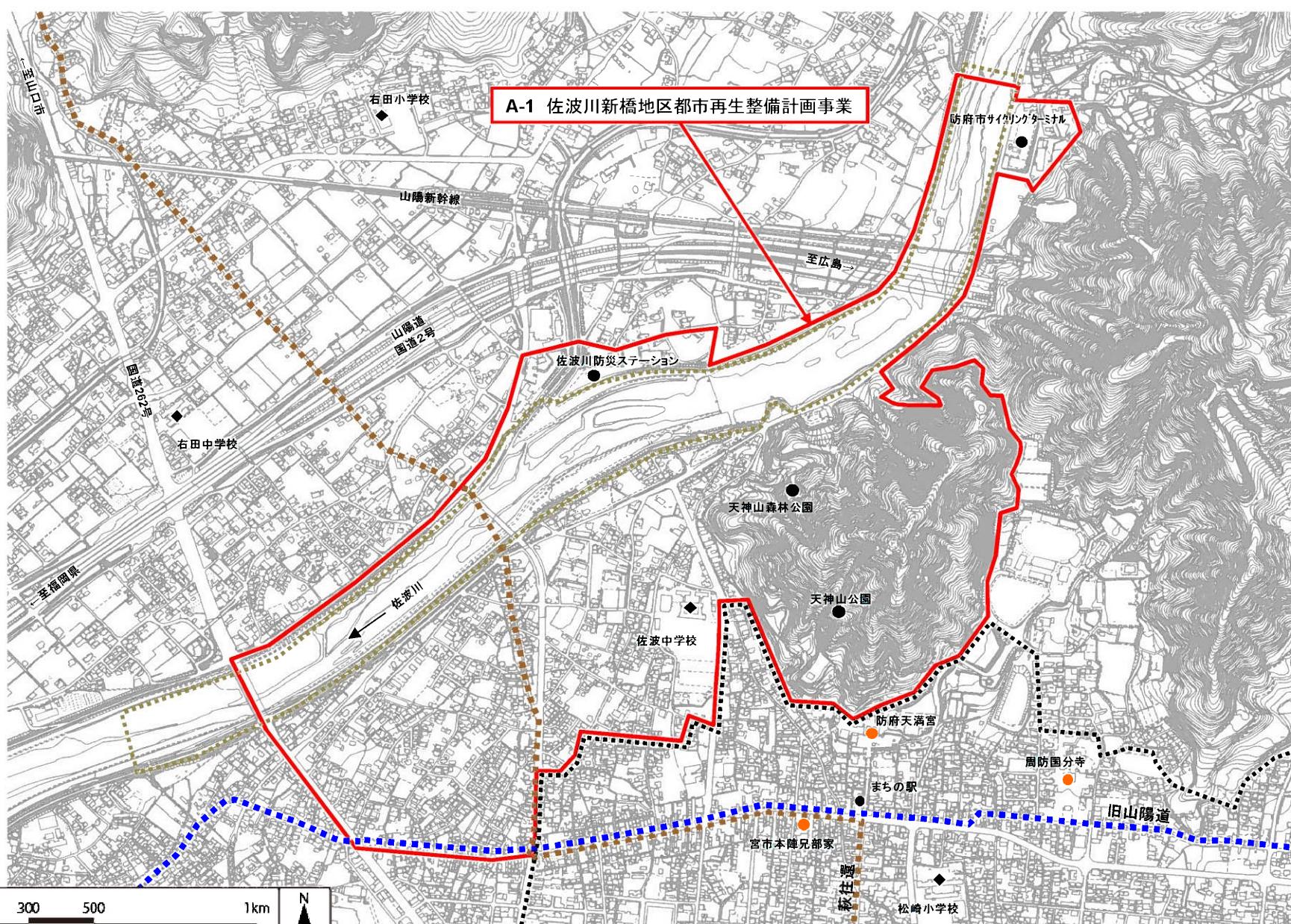
平成27年 3月

やま ぐち ほ う ふ し
山口県 防府市

社会資本総合整備計画

平成27年 3月13日

(参考図面)

計画の名称	佐波川新橋地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成 27 年度	～	平成 29 年度 (3 年間)
交付 対象 防府市			
			



都市再生整備計画

さ ば が わ し ん ば し ち く
佐 波 川 新 橋 地 区

やまぐち ほうふし
山 口 県 防 府 市

平成27年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山口県	市町村名	防府市	地区名	佐波川新橋地区	面積	174 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 29 年度				

目標

- 大目標:「佐波川を活かしたまちづくり」の実践
 -安心して利用できる水辺空間の創出
 -自然と歴史を活かした魅力ある環境の整備
 -快適で安全安心な歩行空間の創出

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【歴史】

- ・防府市は、その地名の由来のとおり大化の改新(645年)以降、当地に周防の国府がおかれて、奈良時代には国分寺が建立され周防の国の中心地として発展してきた。さらに平安時代には日本三天神の防府天満宮が、鎌倉時代には東大寺別院阿弥陀寺が建立され、天満宮の門前町として形成された宮市地区は、商工業の中心として発展し、防府のまちづくりの礎を築いた。また、江戸時代には毛利氏が軍港として藩の表玄関である三田尻一帯が港町として発達した。
- ・こうした歴史的背景から、防府市には数多くの歴史的資源が残っている。特に旧山陽道や萩往還(市道新橋阿弥陀寺線他)沿道部には、防府天満宮はじめとするさまざまな歴史的資源が点在している。

【市街地の変遷】

- ・歴史的背景から、防府天満宮が位置する北部地域および沿岸部である南部地域は本市の中心市街地として栄えてきた。一方で高度経済成長に伴うモータリゼーション社会の到来により市街地は拡散し、これら地域の周辺部に新たな市街地が形成され、中心市街地の定住人口が減少し周辺部に新市街地が形成される、いわゆるドーナツ化した都市構造となっている。また、これら周辺は短期間に市街化が進行したことで統一感がない市街地となり、また中心市街地との回遊動線の整備が遅れている状況にある。

【佐波川を活かしたまちづくりの経緯】

- ・防府市には、市を代表する河川である佐波川や天神山など市民が誇りとし、親しみを持つ自然環境が数多く残されている。の中でも佐波川は多くの市民が親しみを持ち、レクリエーションや各種イベント等の活動に利用している。本計画の対象である新橋地区は、萩往還が佐波川と交差する地区で古くから川とまちとの結節点であったことから、市民は佐波川と密接な関わりをもって生活を営んできた。今日では治水・利水の面から河川整備が進む一方で、安全に近づける水辺の減少が懸念されていた。このような状況から「かわと歴史・文化資産の多いまちとの回遊散策空間の創出」「次世代を担う子どもたちが訪れる安全で楽しい水辺空間の創出」に対する強い市民ニーズが生まれ、まちづくり・かわづくりの重要性や必要性を再認識する機運が高まっていた。

- ・こうした背景から、平成25年6月には市民による「佐波川かわまちづくり協議会」が組織され、佐波川の豊かな自然を活かした魅力あふれるまちづくりのための協議会が行われた。協議会で出された市民意見を集約・整理し、平成26年1月に「かわまちづくり計画」が策定され、今後のまちづくりにおいて各種施策が実施されることとなっている。

課題

- ①佐波川は市民が親しみを持ち各種市民活動が行われているが、低水護岸が整備されたことにより、安心して近づける水辺が減少している。
- ②佐波川と萩往還の結節点であった舟橋の面影はなく、往時を知る人も少なくなっていることから新橋地区固有の景観が失われつつある。
- ③佐波川と中心市街地を結ぶ回遊動線が十分に整備できていないため、「佐波川の自然」と「歴史のある中心市街地」が一体的に作り出す魅力を十分に引き出せていない状況にある。

将来ビジョン(中長期)

防府市は「第四次防府市総合計画(平成23年3月)」を策定し、「安全で安心してくらせるまち、多彩な魅力が輝くまち、いきいきと人がふれあい活力のあるまち」を理念として掲げている。市民が豊かな自然・歴史と文化・産業などを大切にし、多様な交流が繰り広げられ、人が元気に活動し、まちが元気ににぎわうことにより、都市の将来像である「人・まち元気 誇り高い文化産業都市 防府」の実現を目指している。また「防府市の都市計画に関する基本的な方針(平成11年2月)」においては、将来の都市構造における方向性を示し、本地区が位置づけられる居住区域においては「住み良い居住環境の創出や定住人口の増加促進を目的に、生活基盤の更新・改善や新たな居住地の整備などにより、良好な居住環境の創出を図ることを基本方針としている。自然的区域では、佐波川などの水辺区域について、まちに変化や潤いを与える大切な自然空間として積極的な保全を図るとともに、人々の憩いの場としての活用を図る区域としている。加えて景観計画においても「佐波川を軸とした河川景観」を重要な景観軸に位置付け、積極的な保全・活用を図ることとしている。さらに平成26年1月に策定された「かわまちづくり計画」では、市民が安心して佐波川に親しめる環境整備の方針が示されている。これらより、本地区における佐波川とまちとの結節点としての特長を活かし、安全な親水施設の整備や市中心部との回遊性を促す施設を整備することで、まちづくりの理念の達成を将来ビジョンとして掲げる。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基 準 年 度	目標 値	目 標 年 度
河川利用者数	人/年	佐波川での市民活動における利用者数(申請利用者数)	安心して佐波川に親しめる水辺空間を整備し、佐波川での活動や利用者数の増加を目指す。	8,500	H25	10,000	H29
河川の満足度	%	佐波川の利用者の施設に対する満足度	自然と歴史を活かした佐波川の環境整備を行うことにより、利用者の満足感の増加を目指す。	34	H25	40	H29
遊歩道と周辺道路の自転車歩行者数	人/日	遊歩道・県道三田尻港徳地線の自転車歩行者数 (14時間交通量・算式=(平日×5+休日×2)÷7)	歩道整備(舗装)や交通安全対策、および歩行者系誘導看板の設置により快適で安全安心な空間を創出し、自転車歩行者数の増加を目指す。	408	H26	450	H29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・佐波川を活用した「かわまちづくり」を実践し、安心して利用できる水辺空間を地域とともに計画、整備、維持していくことで佐波川の魅力や重要性を再確認し、魅力を最大限に発揮できる環境整備を行う。	公園((仮称)桜づみ円筒分水公園)【基幹事業】 地域生活基盤施設(緑地、広場、駐車場、情報板)【基幹事業】 高質空間形成施設(緑化施設等、公衆トイレ)【基幹事業】 地域創造支援事業(多目的広場整備、まちづくり支援事業)【提案事業】、事業活用調査【提案事業】
・佐波川とまちの結節点であり、萩往還の歴史風情が残る新橋地区において、歴史性に配慮した公共空間(広場等)を整備し、生活環境の改善を行う。また地区内回遊動線と連携し、歩行者等の休憩施設としても整備する。	地域生活基盤施設(広場)【基幹事業】 地域生活基盤施設(情報板)【基幹事業】 高質空間形成施設(緑化施設等)【基幹事業】
・周辺景観に配慮したデザインの車道や歩道および防護柵を設置することで自転車や歩行者の回遊性と安全性を高め、佐波川と中心地を結ぶ回遊動線を整備する。	地域生活基盤施設(情報板)【基幹事業】 高質空間形成施設(緑化施設等)【基幹事業】 事業活用調査(事業効果分析調査)【提案事業】 まちづくり活動推進事業(周辺マップ作成)【提案事業】

その他

○新橋地区の特性を活かした回遊動線の創出について

市街地と新橋地区の回遊動線の創出は、萩往還、県道三田尻港徳地線及び佐波川河川堤防を軸とした整備を基本方針としている。本地区は佐波川や萩往還など市を代表する景観軸を有しており、これを積極的に活用した整備を行うことで回遊の契機とし、回遊軸における自転車歩行者数の増加を期待している。また佐波川堤防沿いにある円筒形分水工は、本市における利水施設としての重要性や日本最大級の規模を有していることなどを背景に、登録有形文化財の指定に向けた各種取組みが行われている。既存の景観軸に加え、円筒形分水工を観光資源として整備・PRし、同施設のライトアップや周辺マップの作成による情報提供を行うことで、歩行者自転車数の更なる増加が可能と判断する。

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	352	交付限度額	140.8	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業												(並び順: 4月18日付)		
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
道路(都市再構築戦略事業)														
公園	(仮称)桜づつみ円筒分水公園	防府市	直	1箇所	H27	H28	H27	H28	161	161	161	161	161	161
公園(都市再構築戦略事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	広場	防府市	直	2箇所	H27	H28	H27	H28	17	17	17	17	17	17
地域生活基盤施設	駐車場	防府市	直	2箇所	H27	H27	H27	H27	24	6	6	6	6	6
地域生活基盤施設	情報板	防府市	直	13箇所	H28	H28	H28	H28	21	21	21	21	21	21
地域生活基盤施設	広場(ポケットパーク)	防府市	直	2箇所	H29	H29	H29	H29	16	16	16	16	16	16
高質空間形成施設	緑化施設等(舗装美化化等)	防府市	直	640m	H29	H29	H29	H29	81	81	81	81	81	81
高質空間形成施設	緑化施設等(ストリーファニチャー)	防府市	直	7箇所	H27	H29	H27	H29	10	10	10	10	10	10
高質空間形成施設	公衆トイレ	防府市	直	1箇所	H28	H28	H28	H28	21	21	21	21	21	21
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
パリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街並み環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										351	333	333	0	333

1

19

都市再生整備計画の区域

佐波川新橋地区(山口県防府市)

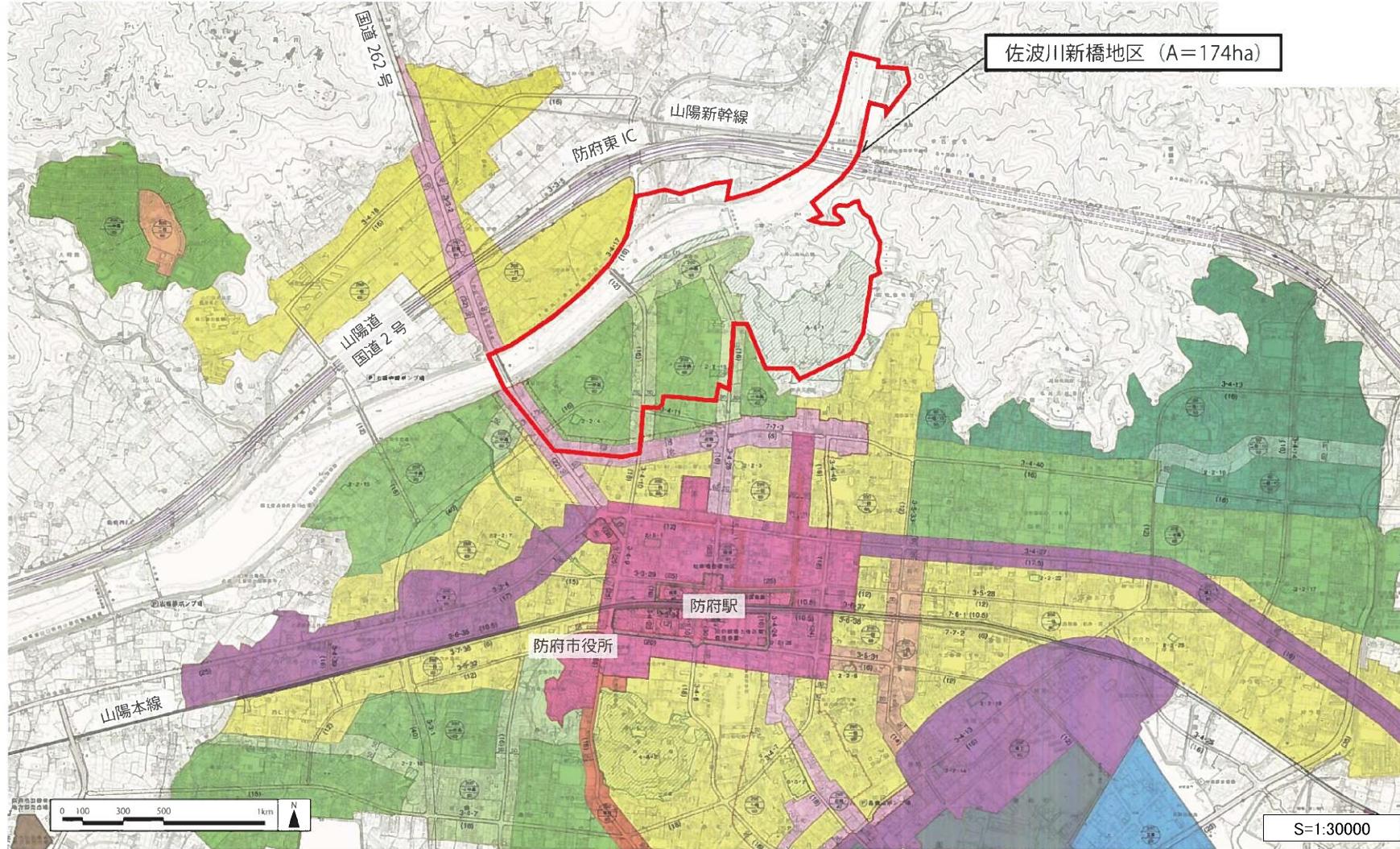
面積

174 ha

区域

本橋町の全部と東佐波町、迫戸町、新橋町、下右田、上右田
千日二丁目、今市町の一部

佐波川新橋地区 (A=174ha)



さば がわしんばし ちく やまぐちけんほうふし
佐波川新橋地区(山口県防府市) 整備方針概要図

目標	大目標:「佐波川を活かしたまちづくり」の実践 ・安心して利用できる水辺空間の創出 ・自然と歴史を活かした魅力ある環境の整備 ・快適で安全安心な歩行空間の創出	代表的な指標	河川利用者数	(人／年)	8500	(H25年度)	→	10000	(H29年度)
			河川の満足度	(%)	34	(H25年度)	→	40	(H29年度)
			遊歩道と周辺道路の自転車歩行者数	(人／日)	408	(H26年度)	→	450	(H29年度)

